

平成29年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第2学年

教科	指導上の成果と課題の分析→	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を正確に聞き取ることに課題がある児童が多い。【話すこと・聞くこと】 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することに課題がある。【読むこと】 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書くことに課題がある。【書くこと】 ・助詞の使い方、句読点の打ち方、かぎの使い方に課題がある児童がいる。既習漢字について、筆順に従って丁寧に書くことが苦手な児童がいる。【言語事項】 	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う機会を多く設定する。 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動を取り入れる。 ・身近なことや体験したことを報告したり、観察したりしたことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動を取り入れる。 ・語と語、文と文のつなぎ方やかぎの使い方、句読点の打ち方について、電子黒板等ICT機器を使って指導し、書く活動を行う。読書カードを活用し、読書に親しむ時間を確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題の意図がつかめずに問題が解けなかったり、よく読まずに違う解答をしてしまったりする傾向がある。【数学的な考え方】 ・立式はできても、友達に自分の考え方を分かりやすく伝える経験が少ない。【技能】 ・繰り下がりのひき算、時間の計算（9時30分から15分後の時刻など）が苦手な児童が数名いる。【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・立式のもととなる数や文に線を引くなど問題文の読み取りを丁寧にを行う。 ・なぜ、その答えに至ったのかを自分なりの言葉でグループや全体に伝えていく場を多く設定する。既習事項を活用する力や考えたことを表現する力を伸ばしていく。 ・少人数指導担当と情報交換を密にして、個々の児童に合った支援を行うことで学力の向上を図る。東京ベーシックドリルを活用し、学習内容の定着を図る。

<p>生 活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の観察や探検などで、自分が気付いたことや思ったことを、自分の言葉で表すことが苦手な児童がいる。【思考・判断・表現】 ・ペア、グループ活動では、カードに記入する時や発表する時に気づきを高められた児童と自分の思いや気づきをもてない児童がいた。【関心・意欲・態度】 	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を働かせて観察したり、インタビューをしたりしながら、身の回りの様子や変化等に気付く力を身に付けさせていく。気づきを共有する際には、ICT機器を使ってよい気づきを全体に共有できるようにする。また、カードにコメントをつけて返却し、教室に掲示することでお互いの観察カードを見合って学び合うことができるようにする。 ・自分の活動を振り返ったり、友達のよさを見つけたりする活動を設ける。友達と協力して活動することの大切さを伝えていく。
<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きな児童が多いが、そうでない児童もおり二極化が見られる。【関心・意欲・態度】 ・体を動かす中で楽しくなりすぎてしまいルールから外れたり、勝ちにこだわってマナーを疎かにしたりしてしまう児童がいる。【思考・判断】 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさが味わえるような魅力ある活動の場を設定する。また、よい動きを称賛したり、他の児童に紹介したりすることで、児童の「やってみたい」という気持ちを引き出していく。 ・事前にルールやマナーを確認してから活動に入るとともにトラブルが起こった際には全体で改善策を考え意識を高めていく。同時に、ルール・マナーを守っている児童を褒めることで、望ましい態度が身に付くようにする。